

目次 Contents

- 3 【特集】未来の新しい街づくり
- 4 フォトグラフ
- 6 令和3年度 教室・講座の受講生募集
- 8 令和3年度の国民年金保険料が決定
- 9 3/27(土)・28(日)市役所休日窓口開庁
／下水道供用開始区域拡大
- 10 富士山南消防本部 令和2年火災・救急・救助統計／注意！あなたの土地が狙われています
- 11 新火葬施設の名称は「裾野長泉斎苑 霊峰の丘」に決定／市道4155線愛称決定「富士裾野ピクトリーロード」
- 12 障害年金を受給しているひとり親家庭の児童扶養手当を見直し／コミュニティ助成事業の活用／無線放送戸別受信機の貸与
- 13 インフォメーション
- 17 図書館だより
- 18 救急協力医
- 20 外国人相談／裾野っ子／すこやかタウン

表紙 Front cover



災いのない1年を願い

2月2日(火)、佐野八幡宮で恒例の節分祭が行われました。豆まきでは、1年の無病息災と新型コロナウイルス感染症の早期終息を願いながら、参加者は福豆を求めています。



全国U15バスケットボール選手権に出場

沼津市立沼津高等学校中等部
川口 青空さん (15歳・中丸上)

「さらにレベルアップして、高校では全国大会で優勝したいです」と話すのは、川口 青空さん。川口さんが所属する沼津市立沼津高等学校中等部バスケットボール部は、今年の1月に東京都で行われた全国U15バスケットボール選手権に出場し、ベスト16の成績を収めました。「コロナの影響で大会が開催されるか不安でした。ベスト16での敗退は残念でしたが、改めてプレーできることのありがたさを実感しました。



周りの人に感謝の気持ちでいっぱいです」と川口さん。他の強豪校は、外国人選手が在籍し、チームの大きな戦力となっています。外国人選手がいない同部では、特定の選手に頼るプレーではなく各選手の持ち味を生かし、チームの力を高めてきました。

川口さんは、地区のミニバスケットボールクラブに通う2歳上の姉に憧れ、小学校1年生の頃に競技を始めました。「当時所属していたチームは、オフェンスを重視するチームで、とことん攻めるバスケットが楽しかったです。これが、今のプレーの原点になっていると思います」と話します。

現在は中等部での部活動を引退し、高等部の部員らと週6日の練習に励んでいます。

「先輩たちに負けないよう、プレーに磨きをかけ上達したいです」と熱く今後の目標を語ってくれました。



susonobito No.24